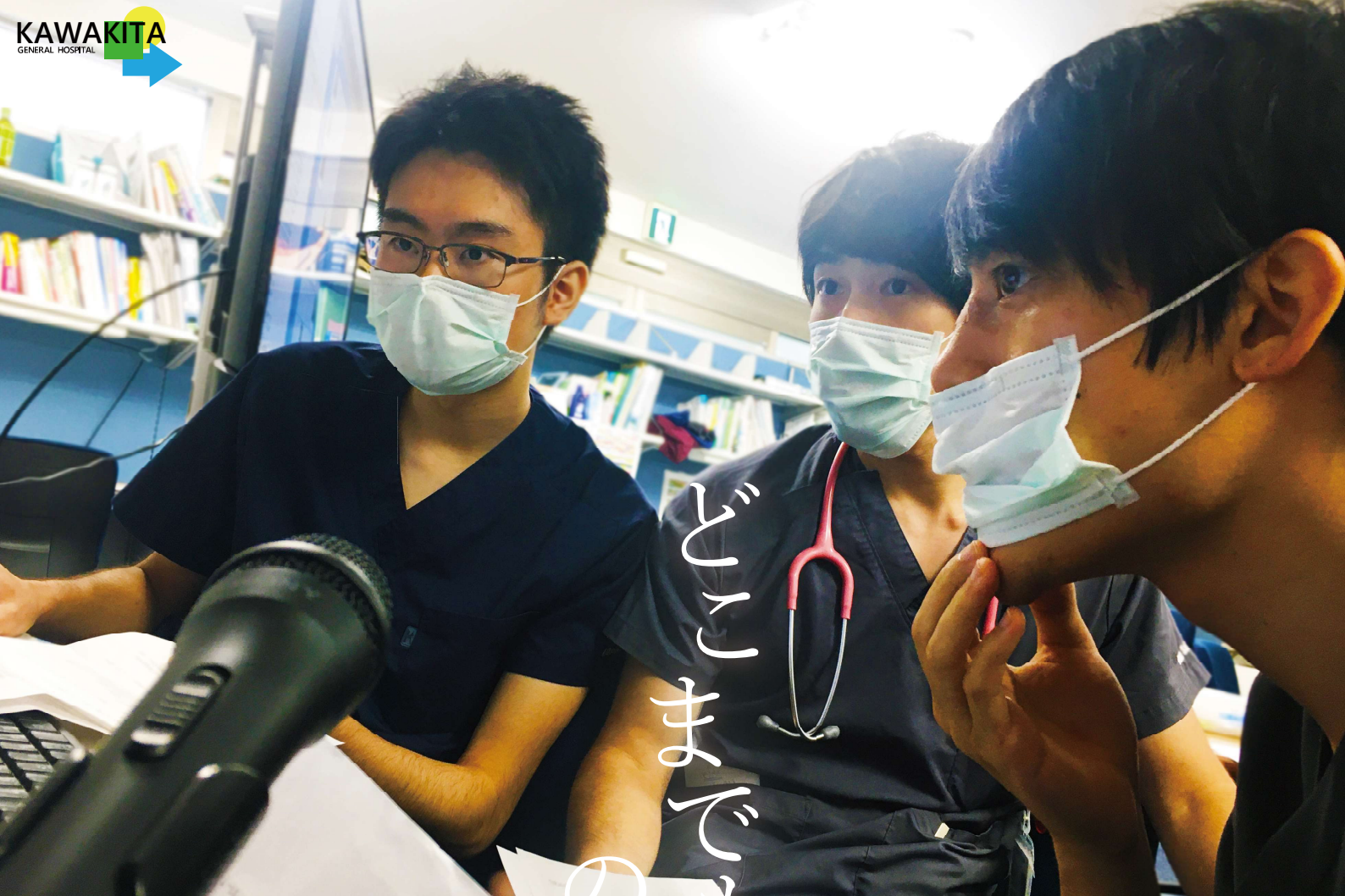
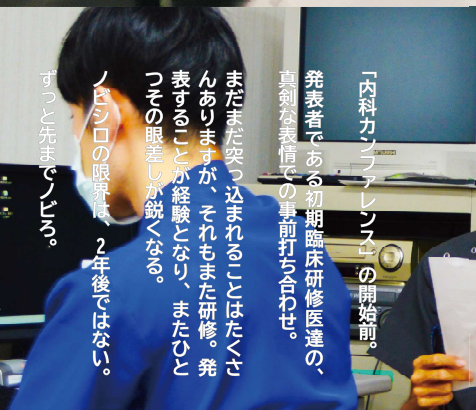


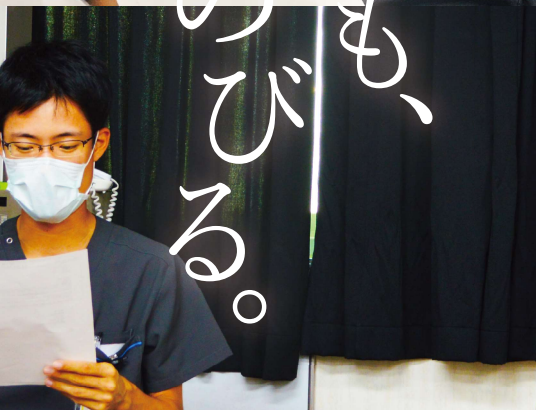


どこまでも、 のびる。



「内科カンファレンス」の開始前。

発表者である初期臨床研修医達の、真剣な表情での事前打ち合わせ。
まだまだ突っ込まれることはたくさんありますが、それもまた研修。発表することが経験となり、またひとつその眼差しが鋭くなる。
ノビシロの眼界は、2年後ではない。
そして先は無限。



Naoki Uemura
[Saitama Medical University]

どんな医師になりたいですか？

患者さんの立場になって考え、病状を見るだけでなく全人的に見ることのできる医師になりたいと考えています。また、長所である明るさを生かして患者さんと良好な関係をとり、多職種の方とも連携してチーム医療を行ってまいります。将来的には地域に根差した開業医として内科全般を診ることのできる医師になりたいです。



Yurika Sasaki
[Tokyo Women's Medical University]

在学中にやっておくべきこと

特に私は意識して何かが行動はしていませんでしたが、学生のうちにしかできない経験を沢山積めるといいと思います。勉強でも部活でも趣味でも、何でも積極的にチャレンジして有意義な学生生活を送ってください。

マッチング対策としては河北は面接のみなので、想定される質問とその答えを紙に書いて何度も練習しました。



Yutaro Tanaka
[Teikyo University]

なぜ河北総合病院を選んだのですか？

私は初期研修の2年間で「緊急性の高い疾患や発症頻度の高い疾患への初期対応を自信を持ってできるようにしたい」という思いがあり、救急搬送数多くて初期研修医が数多くの症例を経験できるような病院を探しました。そしていくつもの病院を見学をした中で、当院の初期研修医の先生方が1年目の段階で診察や手技を自ら主体的にこなしている姿が本当に印象的で、自分も河北の先輩方のようにになりたいと思い当院を選びました。また上級医や他職種の方々にも相談しやすい雰囲気があり、初期研修医の先生方が忙しいながらも生き生きと楽しそうに日々の診療に取り組んでいた姿が当院を選んだ決め手となりました。

✓ 初期臨床研修は河北総合病院で

不定期にしても不定期すぎてもいいです。当院では、現在マッチング採用試験の真っ最中です。今年度はWeb面接も導入し、出願者の希望に最大限応えながらお会いさせていただいております。Web面接のメリットを挙げれば、「自宅でリラックスして受験できる」「移動しなくてよい」「カンペが見れる(?!)」かと思います。デメリットとしては、「自分の雰囲気や伝えにくい」「ネット環境が悪いと止まってしまう」「面接官の反応がわかりにくい」でしょうか。何よりも感染防止が第一。Web説明会も引き続き実施していきますので、是非ご参加ください。